武蔵野市議会だより

MUSASHINO MUNICIPAL ASSEMBLY

No.391
発行日 令和５(2023)年４月30日
発　行 武蔵野市議会
市議会ホームページ
https://www.city.musashino.lg.jp/shigikai/

CONTENTS

●代表質問・施政方針 …… 2-3面
●予算特別委員会審査概要 …… 4-5面
●一般質問 …… 6-7面
●外環道路特別委員会最終報告 …… 7面
●議会改革検討結果報告 …… 7面
●議案審議結果一覧 …… 8面
●意見書・陳情審議結果 …… 8面

第一回　市議会定例会

第一回定例会は、二月二十日から三月二十七日まで開催されました。

今議会では、市長による施政方針演説と、これに対する八人の各会派代表質問、および十三人の議員による一般質問が行われました。また、令和五年度武蔵野市一般会計予算をはじめ、三十一件の市長提出議案が可決されたほか、武蔵野市議会個人情報の保護に関する条例など二件の議員提出議案が可決されました。

令和五年度予算を可決

誰もが安心して暮らし続けられるまちへ　平和が続く未来をつくる予算

一般会計は七百二十九億円

令和五年度の各会計予算案は、二月二十八日の本会議で、同日設置された十二名の委員から成る予算特別委員会に付託されました。

同委員会では三月十三日に正副委員長の互選および各予算案の説明を行った後、同月十四日から五日間にわたって各予算案の審査が行われました。

同月二十七日の本会議では、ひがしまり子予算特別委員長より委員会における審査概要が報告され、討論、個別採決の結果、令和五年度一般会計予算は賛成多数で可決され、国民健康保険事業会計・後期高齢者医療会計・介護保険事業会計の三特別会計、水道事業会計および下水道事業会計の各予算は、全会一致で可決されました。

これにより市政運営の大枠が確定し、各事業が実施されることになります（三面に施政方針、二・三面に代表質問、四・五面に予算特別委員会審査概要、五面に予算に対する討論を掲載）。

子どもの権利条例を可決

三月六日の文教委員会での審査を経て、同月十三日の本会議において、「武蔵野市子どもの権利条例」が賛成多数で可決されました。

本条例は、未来にわたって子どもの権利と尊厳が尊重されるよう、子どもに優しいまちづくりを推進する取り組み、子どもの権利の侵害について救済する仕組み等を定めるものです。

条例前文には「子どもたちのことば」が掲げられ、本条例の権利の主体が子どもたちであること、子どもの気持ちや願いを尊重しながら、子どもが安心して暮らし、健やかに育つまちづくりを推進していくことが示されています。

また、「子どもにとって大切な子どもの権利」として、自分らしく育つ権利、遊ぶ権利、休息する権利など、全部で八つの権利が掲げられています。併せて、十一月二十日を「武蔵野市子どもの権利の日」と定め、普及啓発に取り組むことや、権利が侵害された場合に救済を行うことを目的として、「武蔵野市子どもの権利擁護委員」を置くことを規定しています。

監査委員の選任に同意

三月二十七日の本会議で、監査委員の選任について審議が行われ、全会一致で同意されました。任期は、四月一日からの四年間です。

■監査委員：小島麻里　氏

平成元年入庁後、市民部市民活動担当部長を経て、令和四年四月から財務部長。

Photo Gallery（フォトギャラリー）

写真募集中!

「茂みの中からこんにちは」

撮影：飯塚　啓（武蔵野市）
場所：グリーンパーク緑地(八幡町1丁目)(2023年2月11日)

花の蜜を求めて飛び回っていためじろが、茂みの中からひょこっと顔を出してきたところを捉えました。とてもかわいらしく、お気に入りの一枚になっています。

1面写真募集要領〈次回の締め切り　令和５年５月17日〉

●内　容：武蔵野市内（市域が一部含まれる公園、施設等を含む。）で応募者自身が撮影した、未発表※のオリジナル作品（カラー）に限ります（**人物が写っている場合は、必ずご本人の了承を得てください。**）。
※インターネット、ＳＮＳ等で掲載したものや、個展や写真の掲載が主目的な催しは発表とする。ただし、地域行事への協力展示（例えば、コミセンや学校での展示など）は未発表とする。

●規　格：①紙焼きの場合　・サイズ　２Ｌ判～Ａ４
②デジタルデータの場合
・ファイル形式　ＪＰＥＧ形式
・画像サイズ　1600×1200ピクセル以上
・ファイルサイズ　２ＭＢ程度まで

●審　査：議会広報委員会が審査します。

●発　表：採用された作品は、**令和５年６月15日発行**の市議会だよりに掲載する予定です。ただし、紙面構成の都合上、掲載しない場合がありますのであらかじめご了承ください。

●著 作 権：作品の著作権は撮影者本人に帰属します。ただし、次号の市議会だより発行までは、他媒体での発表等をご遠慮いただくことを、作品採用の条件といたします。

●期　限：**令和５年５月17日（水曜日）**当日消印有効

●応募方法：撮影者の住所・氏名（ふりがな）・電話番号・撮影年月日・撮影場所・作品名・作品に関するコメント(100字程度)を明記のうえ、下記宛先までご応募ください（本名以外での掲載を希望する場合、上記に加え、ペンネーム（ふりがな）を明記してください。）。
作品は返却いたしません。なお、今回採用されなかった場合は、次号以降の市議会だよりの１面写真に使用させていただく場合があります。

●宛　先：〒180-8777武蔵野市緑町２- ２-28
武蔵野市議会事務局市議会だより担当
デジタルデータの場合はメールで
ofc-gikai@city.musashino.lg.jp　まで
（上記以外のメールアドレスや各種メディア等での送付はご遠慮ください。）

お問い合わせ　東京都武蔵野市緑町2-2-28　TEL 0422-60-1883(直)　FAX 0422-55-7555　メールアドレス ofc-gikai@city.musashino.lg.jp

施政方針を質す（ただ）

代表質問

「施政方針」は武蔵野市役所のホームページでご覧いただけます。また、市役所の市政資料コーナー、各図書館、武蔵野プレイスで閲覧できます。

2月22日、市長の施政方針に対して、８名の各会派代表者による代表質問が行われました。以下はその要旨です。

自由民主・市民クラブ● 小美濃安弘　議員

改めて住民投票を検討する際には自治基本条例十九条から議論せよ

問 **時代の流れが急速に変化する中、長期計画策定時に市議会が議決した市政運営の基本理念と施策の大綱を十年間変更せずそのまま市政に反映し続けるのは果たして適当か。**

答 ＩＣＴやデジタル技術の推進がコロナ禍で加速したが、市政運営の基本理念や施策の大綱の変更には至らない。今後、議決の要否や、計画を変更可能とすることに関し提案や意見があれば、第七期長期計画等で考えていくべきだ。

問 **民間建物の付置義務駐輪場の距離を百メートルから三百メートルに規則変更し、駅周辺の駐輪場を商業地の外周部に配置する方針は、放置自転車対策に逆行するだけでなく駅周辺から自転車を締め出すことにならないか、見解は。**

答 現在、放置自転車対策は最重要課題ではない。自転車を締め出す意図はなく、歩行者が安全に回遊できるまちづくりが重要だと考える。

問 **施政方針で国政の民主主義軽視の動きと述べているが、これは市長としての発言か、また具体的に何を指すか伺う。**

答 市長としての発言であり、具体的には、国会で審議をせず、閣議という場で物事が決定されていること等を指す。

問 **市長として、閣議決定が民主的ではないと述べたのか。**

答 閣議決定は民主主義に反すると考える。閣議決定が民主主義なら議会はいらないのではないか。例えばマイナンバーカードと健康保険証の一体化は大臣発表で決定しており、民主主義としては疑問だ。

問 **市の住民投票制度は、自治基本条例十九条も含め、市民や有識者と熟議を交わすことが大事だと考えるが見解は。**

答 十九条の必要性を含めて議論する考えは持っていない。シェアリングエコノミーは未来に向けた大切な視点だ。民間事業者との連携について、自転車等駐車対策協議会の意見も聞きながら検討したい。

立憲民主ネット● 藪原太郎　議員

急激に変化する社会の中で多様な意見を反映した市政運営を

問 **無作為抽出による市民会議の実施は評価するが、少数意見や専門的意見が反映されない可能性がある。幅広い市民意見をどう担保していくか。**

答 今回の気候市民会議は公募と無作為抽出により実施した新たな試みだが、市民の誰もが関係する内容の場合、同様の手法で意見を聴取したい。

問 **兵庫県明石市の事例で、子育て支援はまちの活性化に効果的なことが明らかになっている。その一歩として学校給食無償化の検討を進めるべきと考えるが見解を伺う。**

答 第六期長期計画・調整計画でしっかりと議論する必要がある。策定委員会でも議論し、施策の方向性を決めたい。

問 **駐輪場整備は民間の協力を得ながら進めるべきだと考える。シェアサイクルの活用と併せて見解を伺う。**

答 満空情報に民間駐輪場の状況も載せるなど、駐輪場対策に資する取り組みを進めたい。シェアリングエコノミーは未来に向けた大切な視点だ。民間事業者との連携について、自転車等駐車対策協議会の意見も聞きながら検討したい。

問 **子どもの権利条例は、特に当事者である子どもたちの意見を聴取したことを評価する。まちぐるみでの子育て、子どもの成長を見守る体制が求められるが見解を伺う。**

答 子どもが悩んだ時に相談できる体制整備が大切だ。

問 **バスの小型化も含めたラストワンマイル対策を検討すべきだと考えるが見解を伺う。**

答 地域公共交通網形成計画でタクシー事業者を実施主体とする研究実証等の検討を掲げたが、交通事業者は厳しい状況であり、交通手段の確保について、地域公共交通活性化協議会で検討したい。

市議会公明党● 落合勝利　議員

新型コロナウイルス感染症への今後の対策における考え方を問う

問 **市が取り組んできた新型コロナウイルス感染症対策の評価と今後の基本的考え方は。**

答 計六度の対応方針策定や計二十五回の補正予算編成等で暮らしを守ることに寄与した。国や都の動向や感染状況を注視し臨機応変に対応する。

問 **コロナ禍で対面の交流が減少したことの弊害と、課題克服に対する行政の支援は。**

答 高齢者を中心とした健康面の課題や子どもたちの精神面の影響等さまざまな課題が残る。対面とＩＣＴの活用を両立した交流活動を支援する。

問 **住民投票制度の論点整理に関し市民周知の考え方は。**

答 市民参加手段としての住民投票制度の理解を得られるような説明のしかたや示し方、一緒に考える姿勢を持ちたい。

問 **駐輪場整備の基本的な方針が市民に伝わっていないが、市の認識と今後の取り組みは。**

答 駐輪場は場所により課題が異なるため、移転・集約等適正な配置に関し理解が深まるようまちづくりの観点からの説明をしっかりと進めたい。

問 **四十歳以上の市民全員に対する歯科健診の環境整備が示されているが、継続性を持った取り組みとなるのか。**

答 受診率等の結果を見て継続して取り組んでいきたい。

問 **建物の耐震化に関し課題認識と対策についての見解は。**

答 武蔵野市耐震改修促進計画により着実に進んでいるが、緊急輸送道路沿道建築物は費用面等に課題があり、助成制度などを活用し促進を図る。

問 **ムーバスに関し、利便性を踏まえた効率的な運行を図ることへの具体的取り組みは。**

答 調査により把握した利用実態や道路混雑を踏まえ運行時間帯やダイヤ等の見直しを検討した効率的な運行を図る。

ワクワクはたらく● 宮代一利　議員

計画行政の実施においては柔軟な姿勢を持って市民の理解を得よ

問 **既存のやり方だけでなく、柔軟な姿勢で計画行政を実施することについて見解を伺う。**

答 拙速な意思決定や思いつきの政策判断を避けるため、計画行政が原則だが、変化が激しい時代には柔軟な対応が必要だ。情報共有と市民参加、協働による市政運営を進める。

問 **計画行政の実施中に、意見の相違が生じた際の対応は。**

答 意見の違いは手法の違いでもあり、異なる意見に耳を傾け、冷静に議論をしたい。

問 **老朽化が進むテンミリオンハウスは、安心して使用できるよう将来展望を示しては。**

答 適切に維持管理しサービスを継続したい。耐用年数経過後の対応は今後の課題だ。

問 **インクルーシブな社会の在り方を学び実践するためにつくられたインクルーシブ教育システムは、子どもの成長にとって適切か考えては。**

答 個人に合う教育を受け社会的自立を目指すことが必要であり、今後も議論が必要だ。

問 **デジタル・シティズンシップ教育にあたり世界の変化を的確に捉え適合する必要があると考えるが見解を伺う。**

答 法の理解やＩＣＴを活用した課題解決能力を子どもと共に大人も学ぶことが大切だ。

問 **吉祥寺駅南口および東部地区における実効性のある環境浄化の今後について伺う。**

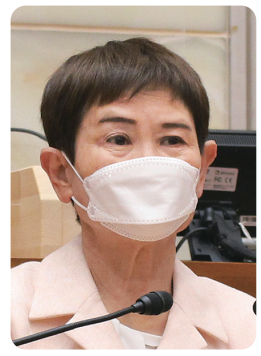
答 体感治安は改善してきているが、ブルーキャップ等の運用を見直し、禁止行為が行いづらい環境を目指したい。

問 **コロナ禍の影響を大きく受けた市内産業全体を盛り上げるための今後の見通しは。**

答 コロナ禍以降の新たな視点や課題等を踏まえ、長期計画・調整計画とリンクしつつ、具体的施策の検討や第三期産業振興計画策定につなげたい。

小さな声を活かす会 ● 山本ひとみ 議員

差別や排除のない 誰もが安心して暮らせるまちを



問 物価高騰対策として、水道基本料金の減額・免除、電気・ガス代への補助、学校給食費無償化を求めるが見解は。

答 物価高騰対策は地域の要望に応えるため総合的に判断していきたい。給食費無償化は第六期長期計画・調整計画で施策の方向性を決めていく。

問 五月八日に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが五類に移行することに伴う市の対応を伺う。

答 都の対策本部決定に準じた形で、本市も移行を進める。

問 差別や排除のない、人権を尊重され、誰もが安心して暮らせるまちづくりに向け、苦情処理、是正勧告のできる第三者機関を設置しては。

答 人権擁護委員と共に人権相談や啓発活動を行い、専門機関や救済制度につなげたい。

問 多文化共生社会を目指し、多様性を認め合う、支え合いのまちづくりを評価するが、パートナーシップ制度はどのように生かされているか。

答 パートナーシップ届受理証を持つ方が市営住宅等に入居申し込みできるようにした。

問 障がい者の特性に応じ、住まいの安心、医療との連携、ソーシャルファーム設置などの対応を求めるが見解は。

答 医療や就労の面においても、障がい特性に応じた地域社会での支援を進める。

問 本市でも子どもの権利条例が審議されるが、子どもが社会で育つことを基本にした教育が問われている。東京都はフリースクール等に通う児童生徒へ支援をしているが、本市では、義務教育段階の不登校の児童生徒に対する経済的支援についてどう考えるか。

答 広域的な取り組みが望ましいと考えており、都の取り組みを評価している。

日本共産党武蔵野市議団 ● 橋本しげき 議員

市民生活を支え応援する施策を進め、学校給食費無償化の実現を

問 市内の景気と市民の暮らしの現状をどう認識するか。

答 食料品や光熱費等の値上げにより家計の負担が増大している。これが長期化すれば、消費が落ち込み、事業者にも大打撃を与えることになる。

問 平和な社会を目指し、敵基地先制攻撃能力保有等の大軍拡阻止、紛争を戦争にさせない外交的イニシアチブを日本が発揮するよう、地方自治体から強く求めるべきでは。

答 本市は世界連邦宣言都市、非核都市宣言都市であり、市民代表また平和首長会議の一員として、他自治体と連携し平和意識の醸成に取り組む。

問 多様性を尊重するまちづくりに向けた今後の展開は。

答 パートナーシップ届受理証を活用できる施策拡充の検討や、一層の理解促進と周知啓発を図る。ファミリーシップ制度の必要性も認識しており、当事者の声を聴きながら検討すべきものと考えている。

問 本市でも学校給食費無償化に踏み出すべきでは。

答 現在策定中の第六期長期計画・調整計画の策定委員会で議論し方向性を決めていく。

問 加齢性難聴者に対する補聴器購入費等の補助制度実現を求めるが見解は。

答 加齢性難聴は生活の質や精神的健康に影響し、認知機能の低下を招くことがあると認識している。次期高齢者福祉計画策定の中で議論したい。

問 気候危機打開に向け、市民の環境配慮行動を促すと同時に根本的な社会構造変革が必要だが、どう取り組むのか。

答 市域を越えた地球温暖化対策に寄与する広がりのある施策を持続的に検討する。気候危機打開武蔵野市民活動プラン（仮称）を定める中でも力強く取り組んでいきたい。

自治と共生 ● 山本あつし 議員

金銭には代えられない 自治体の持つ社会資源を大切に

問 コロナ禍の総括と公の役割に関し、第六期長期計画・調整計画や健康福祉総合計画への反映の考え方を伺う。

答 調整計画の討議要綱にはコロナ禍の影響を位置づけた。健康福祉総合計画策定でも、コロナ禍への対応の視点や調整計画での議論も踏まえ、分野横断的な議論を進めたい。

問 生活困窮者や障害者の就労支援に関し、多分野にわたる各制度を、自治体レベルで再構築してほしいが、見解は。

答 収入面だけでなく社会参加の面からも、就労支援の強化が必要と考える。国の雇用施策等も踏まえ、分野横断的で総合的な観点から重層的な支援体制の充実を図りたい。

問 学校施設の再編に関し、小中一貫校方針の総括を伺う。

答 施設一体型による小中一貫教育は、十二の小学校に中学校を併設する計画だったが、第六期長期計画の策定にあたり、児童数の増加による物理的な困難性、学校生活や地域コミュニティへの影響、防災上の課題などを勘案し、実施するべきではないとした。

問 今後のPPPガイドラインの見直しに関する方向性は。

答 平成三十年三月にガイドラインを定め、基本的な考え方や事業手法を検討する際のプロセス、市民や議会との関わり方等を示したが、国の要請もあり、令和五年度末までに実情を踏まえ見直したい。

問 財政援助出資団体の在り方は、指導監督方針や、指定管理者に関する方針も含めて検討してほしいが、見通しは。

答 公共サービスの提供に欠かせないパートナーとして市との連携を推進するため、指導監督の基本方針を改定し、団体の役割や状況に応じて自立化や経営改革を支援したい。

自由民主・市民クラブ ● ひがしまり子 議員

子どもと認知症の方の安心・安全、武蔵野の農業を守る支援を望む

問 産後ケア事業において、母親だけでなく、乳児もふだんと違う環境にストレスを感じているであろうことを踏まえた取り組みや今後の対応は。

答 国のガイドライン等を参考に実施マニュアルを作成予定。母親へのレスパイトのほか、乳児のストレスへの配慮についても記載するなどして、適切に支援したい。有害鳥獣対策も引き続き検討する。

問 認知症の方への支援に関して、①認知症初期集中支援チームの役割は②理解を深めるための今後の取り組みは。

答 ①医療と介護の複数の支援者で方針を立て、対応の難しい認知症の方に対しアウトリーチを行う②認知症サポータースステップアップ講座の修了者による自主活動である認知症カフェなど、地域で認知症の方を支える活動を今後も支援していく。

問 学校改築が進む中、家庭と子どもの支援員の全校配置のため部屋の確保が必要では。

答 児童生徒が安心できるよう多様な場所を設ける予定だ。支援員については、その児童生徒に合った居場所で活動できるよう配置を検討する。

問 農業推進について、①COOPLAB MUSASHINO（コラボむさしの）のような交流の場を定期的に設けるべきでは②東京むさし農業協同組合から市議会へ宛てた具体的な要望について、可能な限り配慮するべきでは。

答 ①来年度もテーマを変えずに継続予定であり、農家見学会等交流の場の充実を図りたい②給食への市内産野菜使用割合目標値三十五％を推進する。農業用資材の高騰へは、社会変化に応じて、農業関係者の皆様の意見を伺いながら事業所と共有していきたい。

市長の施政方針

誰もが安心して暮らし続けられるまちへ 平和が続く未来をつくる予算

松下玲子　市長

【市長が２月20日の本会議で行った「施政方針」演説の項目です】

市政運営の基本的考え

1 多様性を認め合う　支え合いのまちづくり
2 未来ある子どもたちが　希望を持ち健やかに暮らせるまちづくり
3 コミュニティを育む　市民自治のまちづくり
4 このまちにつながる誰もが　住み・学び・働き・楽しみ続けられるまちづくり
5 限りある資源を生かした　持続可能なまちづくり

主要な施策の体系

（Ⅰ）健康・福祉
（Ⅱ）子ども・教育
（Ⅲ）平和・文化・市民生活
（Ⅳ）緑・環境
（Ⅴ）都市基盤
（Ⅵ）行財政

別委員会 概要

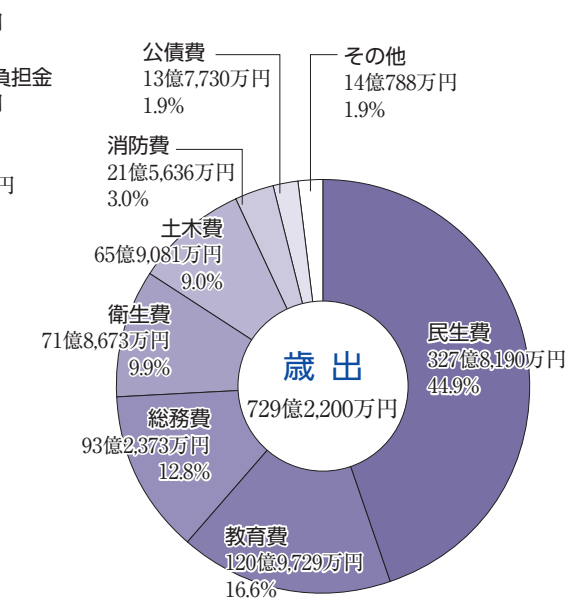
令和５年度予算は、「誰もが安心して暮らし続けられるまちへ　平和が続く未来をつくる予算」と位置づけ、第六期長期計画の４年目として、計画の各分野に掲げられた施策を着実に推進するとともに、社会・経済全体の不確かな状態の中で新たに生じる課題にも対応しながら、持続可能な市政運営を行っていくため、限られた財源を重点的かつ効率的に配分することを基本に編成されています。

また、効率的な行政経営により健全な財政運営を維持するため、事務事業および補助金の見直しや政策再編を継続的に実施したほか、経常経費は前年度予算額を上限とする予算配分により、経費の節減が行われています。

以下は予算特別委員会の審査概要です。

よび歳出予算の目的別内訳

人口１人当たり　492,836円
１世帯当たり　931,541円



主要な事業

（単位：千円）

■一般会計
◇総務費
・次期指定管理者の選定準備　6,983
・吉祥寺本町一丁目23番街区利活用に関する検討　3,000
・住民投票制度確立に向けた論点整理　3,042
・自動釣銭機付きＰＯＳレジ及びキャッシュレス決済の導入　4,808
・滞納整理アドバイザーの活用　704
・個人情報保護法の改正に伴う制度見直しへの対応　3,385
・中央コミュニティセンターバリアフリー化の検討　5,926
・武蔵野公会堂改修等基本設計関連事業　28,102
・多文化共生推進事業　2,750
・第六次子どもプラン武蔵野の策定　9,677
◇民生費
・高齢者総合センター大規模改修工事実施設計　44,839
・高齢者総合センター・障害者福祉センター仮設施設設置関連工事　28,813
・地域生活支援拠点の段階的整備　7,204
・子どもの手当・助成に関する窓口ＤＸの試行（書かない・待たない・スムーズな窓口の実現）　7,642
・市立保育園における医療的ケア児受入体制の整備　16,162
◇衛生費
・むさしのゼロカーボン大賞事業（仮称）　500
・家庭向け再エネ電気切替協力金支給事業　4,134
・気候危機打開武蔵野市民活動プラン（仮称）の作成　8,397
◇商工費
・商店会地区サポート事業　2,000
◇土木費
・資材置場整備工事　49,811
・緑の基本計画2019中間まとめの策定　2,442
◇消防費
・消防団第２分団詰所の改築　12,722
◇教育費
・第四期学校教育計画の策定　2,718
・陸上競技場第三種公認検定のための改修工事等　112,424
・中央図書館地下書庫電動書架リニューアル工事　21,993
・子育て支援施設への返却ポストの試行設置　315
◇各款
・公共施設の実質再エネ100％電力の導入　8,775

■特別会計
〈国民健康保険事業会計〉
・国民健康保険データヘルス計画・特定健康診査等実施計画の改定　8,000

■公営企業会計
〈下水道事業会計〉
・保健センター増築に伴う大野田ポンプ所の移設　19,426

ひがしまり子 予算特別委員長

審査した特別委員

令和５年度予算審査に当たった特別委員の氏名は、次のとおり。

◎ひがしまり子　○蔵野恵美子
大野あつ子　桜井　夏来
宮代　一利　落合　勝利
内山さとこ　与座　武
小美濃安弘　橋本しげき
西園寺みきこ　深沢　達也

◎印 委員長　○印 副委員長

総括・人件費

将来人口推計に基づく税収や行政サービスの見通しは

問 令和四年度の将来人口推計では人口は右肩上がりの増加とされているが、税収や行政サービス総量の見通しは第六期長期計画の内容から変化するのでは。

答 第六期長期計画・調整計画の策定時に改めて税収や各種施策をシミュレーションする。人口の伸びは大きく変化しておらず、影響は小さいと認識する。

問 コロナ禍をきっかけに市が実施するイベントや事業を見直し、取り組む意味や目的を整理するとのことだが、これまでの取り組みを変えるということか。

答 長年実施してきた事業でも変えるべきところは変えていくものと認識している。

問 都市基盤について新たな将来像の構築を進めるとのことだが、その際には文化をしっかりと位置づけてほしいが見解は。

答 まちづくりには文化の要素が欠かせず、都市基盤や文化、産業などが有機的につながっているまちが望ましい。関係者と情報を共有して丁寧に進めたい。

問 市の障害者雇用率は。また法定雇用率を下回らないよう令和五年度に新たに任用するのか。

答 令和四年六月一日時点で、二・八八％で、法定雇用率を達成している。なお、令和五年四月に三名任用予定である。

問 産業・経済政策懇談会を廃止し、附属機関として産業振興審議会を設置したが、本来附属機関の機能を持つ委員会を要綱で設置している事例はあるか。

答 令和四年八月に要綱設置の全ての委員会についてヒアリングし、附属機関に該当するものがないことを確認している。

歳入

ふるさと納税による減収を抑える対策を

問 ふるさと納税による市税の減収額を抑える対策が必要では。

答 財政力が高い自治体には厳しい制度となっている。市長会を通じて国や都に要望を行っており、今後も続けていく。

問 法人市民税の伸びは、まちの経済状況が好調なことによるのか、それとも物価高騰により税収だけが伸びているのか。

答 全体的に企業業績は好調である。本市の法人市民税においては大企業が占める割合が大きく、そこが落ち込まない限り税収が大きく減ることはない。

総務費

友好都市との幅広い交流を推進せよ

問 友好都市との交流は市が主導するだけではなく、麦わら帽子などを活用し幅広い交流を推進してほしいが、見解を伺う。

答 人をつなげる取り組みや物産品交流などさまざまな工夫ができる。麦わら帽子の運営の在り方を検討する際は友好都市交流の点から柔軟に取り組みたい。

問 吉祥寺パークエリアまちの将来像策定に向けた地域展開については時間をかけて丁寧に進めてほしいが、全体スケジュールと令和五年度に行う内容は。

答 令和七年頃から具体的な将来像策定に向けて取り組み、第七期長期計画の議論を経て、令和十年頃を目途に進めていく。令和五年度は市民や関係者への事業内容の周知等、今後の議論に向けた下地づくりを行う。

問 次期男女平等推進計画の策定にあたっては、男女に起因する関係性が個人の生き方を制限してしまうという、新しく顕在化してきた課題をしっかり議論し、性別にとらわれた考え方は見直すべきと考えるが見解は。

答 固定的な性別役割分担の考えは見直す必要があり、次期計画策定ではその点を勘案したい。

問 住民投票制度確立に向けた論点整理について、本市の市民自治の歴史を踏まえ丁寧に行ってほしいが、見解を伺う。

答 自治基本条例第十九条で定められた住民投票制度の本質的な部分を歴史的な視点で検証し、さまざまな意見をそこに載せて議論できればよいと考える。

民生費

高齢者総合センター大規模改修の内容は

問 高齢者総合センター大規模改修の内容を伺う。

答 経年劣化に対する予防保全のため、給排水設備や屋上防水等の工事を行う。また、要介護度の高い方の増加に対応し、機械浴の増設等を行う。

問 子育てと介護を同時に行うダブルケア等への新規支援策は。

答 介護老人福祉施設入所指針で、ダブルケア等の場合には加点できるよう変更した。

問 子どもの手当・助成に関する窓口ＤＸ試行に関し、この分野で試行を開始する理由を伺う。

答 今の子育て世代はスマートフォン等で抵抗なく手続きができることや、子育て中で時間が限られる中、来庁せず申請することへのニーズが高いと考えた。

問 一部の学童クラブでは学校内に収まらず、学校外でも育成を実施中だが、今後の見通しは。

答 学童入会率は上昇しており、第六期長期計画・調整計画の人口推計からは、西部地区の一部では児童数の増加が予測される。中央・東部地区では、緩やかに減少する地域もあると考える。

衛生費

歯科健診の方法変更に伴う受診率の想定は

問 歯科健診について、四十歳以上の市民全員に受診券を発送することによる受診率の想定は。

答 これまでは七％台だったが、今回は十％程度を見込んでいる。

問 産後ケア事業の利用状況は。また、新型コロナウイルス感染症の影響で受け入れを中止している二施設の再開の見込みは。

答 令和三年度は妊娠届け出千三百件に対し、三百九十五件の登録があった。登録者の増加に対しサービス供給量は不十分で、早期の再開に向け協議中である。

問 家庭向け再エネ電気切替協力金支給事業に関し、再エネ百％電気を利用している人数は。

答 具体的な数は不明だが、気候市民会議の参加者アンケートでは、コストが高く切り替えられないとの回答があった。令和五年度の下半期に事業を案内するが、一世帯当たり二万円前後で二百世帯を想定している。

農業費・商工費

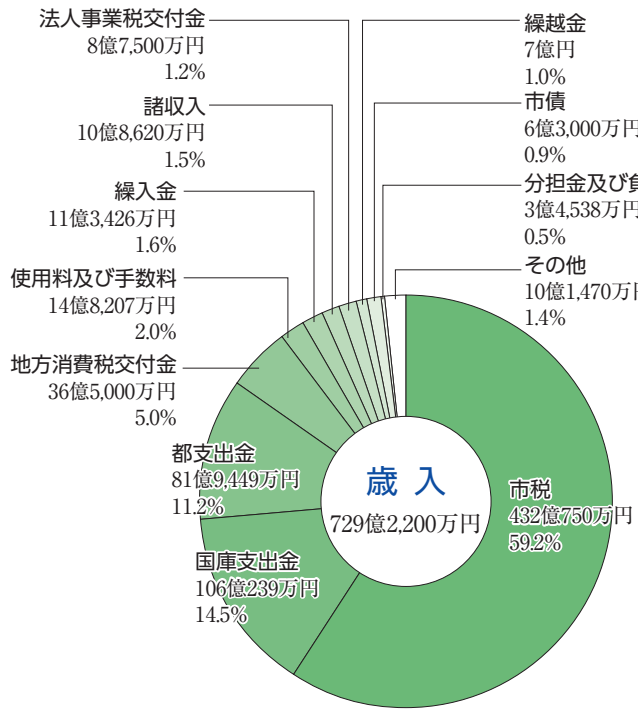
コラボむさしの次なるステップは

問 令和四年度に試行実施したＣＯ＋ＬＡＢ　ＭＵＳＡＳＨＩＮＯ（コラボむさしの）は好評だったが、イベント以外での事業者交流の支援が必要では。

答 令和五年度は、事業者どうしをより密接につなぐための交流会等のほか、市内各地のイベ

予算特別委員会 審査

一般会計歳入予算の内訳



ント等への出店を機に新たなコラボ商品を開発するなど、年間を通した取り組みも行いたい。

問 第二期産業振興計画において、学校給食における市内産農産物の使用割合目標を三十五％としているが、目標達成に向けた市の取り組みについて伺う。

答 他市の事例も調査しており、JAや農業委員会と相談しながら引き続き検討したい。

土木費

吉祥寺駅南口交通体系の丁寧な検討を

問 吉祥寺駅南口周辺交通体系検討については、吉祥寺パークエリアまちの将来像策定との関係性を丁寧に考える必要がある。まずは交通体系検討の中で技術的に可能なこと、不可能なことを整理したうえで、まちづくりのイメージを描くべきでは。

答 交通環境整備は最も基本的な問題だ。まちの将来像策定の過程で市の考えを説明する中で、先駆けて技術的検討を深めたい。

問 吉祥寺東部地区の駐輪場の収容台数は、新しく取得した吉祥寺本町一丁目二十七番街区の駐輪場整備により充足するのか。

答 この新設により収容台数は六百台となり整備目標台数を五十四台ほど上回ると考えている。

問 八幡町二丁目の資材置き場の更新および公園の新設について、公園整備の詳細を伺う。

答 老朽化した資材置き場を更新するにあたり規模を縮小し、創出された空間に公園や緑道の設置を考えている。隣接する千川上水と一体的に整備したい。

問 装飾街路灯のLED化事業の内容を伺う。

答 水銀灯の製造・使用禁止に伴い、市が管理する装飾街路灯のLED化を二か年で進める。

消防費

コロナ禍を経て防災訓練の今後の見通しは

問 コロナ禍で滞っていた防災訓練を今後どのように行うのか。

答 防災課職員も自主防災組織等と一緒に検討している。地域防災計画に沿って着実に進める。

問 防災倉庫の備蓄食料の内容はどのように見直しているのか。

答 事業者への聞き取りや他市への調査等を行っている。

問 地域防災計画修正版は非常に分量が多いため、市民向けの説明のしかたを検討すべきでは。

答 要望があれば出前講座を行うなど、丁寧な周知に努めたい。

教育費

相談支援体制の充実と学びの場の保障を

問 不登校の子どもが増加する中、子ども一人一人に寄り添うよりきめ細かな相談体制の充実や学びの場の保障が必要では。

答 家庭と子どもの支援員の常設校を現在の三校から八校へと拡充するほか、ICTを活用した学びの保障や、地域の居場所につなぐ等、その子に応じた多様な居場所を用意していきたい。

問 教員の事務負担軽減のためにも、欠席届やお便りのICT化をより一層進めるべきでは。

答 令和五年度は、教員が使用する校務支援システムのアプリ版を保護者も利用できるようにする。欠席届の集約が簡単になるほか、保護者もスマートフォン等のアプリで学校からのお便りを見られるようにもなる。

問 学校・家庭・地域の協働体制の充実により、開かれた学校づくり協議会がどう変わるのか。

答 協議会が学校運営の基本方針を承認するというのも大きなポイントだ。単に協議会の意見をもらうという形ではなく、どのような学校運営をしたいのかを学校と協議会が議論し、共通理解・合意形成を得ていくプロセスを大事にしていきたい。

問 図書館の返却ポストが子育て支援施設に設置されることは評価するが、年度ごとにポストを移動させるのではなく、設置箇所を増やしていくべきでは。

答 ポストを設置するのは簡単だが、返却された本を回収するルートを設定しなければならない。試行しながら費用対効果も見定め、検討したい。

特別会計

法定外繰入金解消の今後の方針は

問 〈国民健康保険事業会計予算〉一般会計からの法定外繰入金解消に向けて財政健全化計画が作成されたが、今後の方針は。

答 令和五年度中に、令和六年度以降の東京都の国民健康保険事業の運営方針が示される予定だが、その中で赤字の取り扱いも示されると考えており、それを踏まえて方針を検討したい。

水道事業会計

安全な水の提供のため水質の定期的な検査を

問 緊急で行った市内二十九か所の井戸の有機フッ素化合物の水質検査について、検査結果を踏まえた今後の対応を伺う。

答 今後は定期的な検査が必要と考える。暫定目標値を超えた所はないが、数値が高い所は揚水量を減らすなどの対応も行い、少しでも数値を減らしたい。

予算に対する各会派の討論

3月27日の本会議で予算に対する各会派の賛否の討論が行われました。以下はその要旨です。このほかに、下田ひろき議員の、①は反対し、その他の予算に賛成する討論もありました。各会派の構成は8面に掲載しております。

予算特別委員会の詳しい内容は、インターネット議会中継または会議録でご覧いただけます。会議録は5月下旬以降、各市立図書館、各コミュニティセンター、市役所7階市政資料コーナー、または市議会ホームページにおいて閲覧することができます。

①令和5年度武蔵野市一般会計予算
②令和5年度武蔵野市国民健康保険事業会計予算
③令和5年度武蔵野市後期高齢者医療会計予算
④令和5年度武蔵野市介護保険事業会計予算
⑤令和5年度武蔵野市水道事業会計予算
⑥令和5年度武蔵野市下水道事業会計予算

市議会公明党

市民の不安解消は政治の役割 変化に即した臨機応変な対応を

落合勝利　議員

①②③④⑤⑥賛成

コロナ禍で市民は心を痛ませ、不安を感じている。それを払拭するのは政治の役割であり責任だ。吉祥寺本町1丁目23番街区の利活用検討や吉祥寺南口のまちづくり、住民投票制度確立に向けた論点整理等は、適時適切な情報提供と併せ、市民理解を得て進めてほしい。メッセージ性がない漠然とした予算とも感じるが、長期計画に基づく堅実な予算と受け止める。今後、社会変化に即した臨機応変な対応を求めるとともに、誰もが安心して暮らし続けられるための施策の展開を求める。

小さな声を活かす会

長期的視点の取り組みで 市民とともに希望の持てる未来を

桜井夏来　議員

①②③④⑤⑥賛成

令和5年度は、市民の不安を払拭するための即効性ある対応とともに、安定した社会を取り戻すための長期的視点に立つ取り組みが求められる。物価高騰等で新規事業に慎重な姿勢を理解する一方、状況を注視し、必要に応じた万全の対策を求めたい。気候市民会議の成功等、市民参画での大きな成果を第六期長期計画・調整計画の策定等に生かし、市民が関わる市政の在り方を実現してほしい。市民と行政が力を合わせ、希望の持てる未来を切り開く予算となることを期待し賛成する。

日本共産党武蔵野市議団

現場実態を踏まえた物価高騰対策 市民の暮らしを支える支援策を

橋本しげき　議員

①②③④⑤⑥賛成

全体として暮らしを支え平和を発信する市政を評価する。公共施設の改修や改築等、必要な施設を更新し市民サービスが途切れないよう着実な取り組みを求める。平和事業のあり方懇談会（仮称）の設置による平和施策の発展を期待する。行政のデジタル化や指定管理者制度等における課題に対しては市民の利益を第一に考えた運用を求める。調整計画策定は市民意見の反映に最大限の努力を要望する。国保税については引き上げを行わず、介護保険はサービス水準の維持と充実を求める。

ワクワクはたらく

事業の各段階で市民参加を継続し 市民の声の反映を

宮代一利　議員

①②③④⑤⑥賛成

コロナ禍が収束する兆しを見せている。令和5年度は、変質した社会が新しい時代を迎える転換期と位置づけられると考える。予算編成には、前提となる社会情勢が見えづらい難しさがあったと推察するが、アクセルとブレーキのバランスを取りながら進めるための予算と理解する。事業の各段階で市民参加を継続し、市民の声を反映することや、行政サービスの質の向上に努め、市の魅力を市民にアピールすること等、予算執行上の課題として、きめ細かに対応することを望む。

立憲民主ネット

確かな財政力で、市民のニーズに寄り添い、対話をより一層進めよ

西園寺みきこ　議員

①②③④⑤⑥賛成

人口の微増、市民の担税力に支えられた堅実な予算組みであると判断した。市民生活に必要不可欠な小・中学校の改築事業、福祉3館の整備などを着実に進めていることを評価する。また、コロナ禍を経て、顔を合わせる関係の重要さとICT導入による負担軽減は必ずしも矛盾しないことが分かった。市民福祉向上のため、現場の声を生かして進めてほしい。新規の大型事業が事実上困難な中、市民一人一人のニーズに寄り添い、より一層対話を進め、市政の前進を祈念し、賛成する。

自治と共生

市民の心と体、暮らしの回復に 武蔵野市の自治の力を発揮せよ

内山さとこ　議員

①②③④⑤⑥賛成

コロナ禍で衰えた人々の心と体、暮らしの回復を図るセーフティネットの構築、物価高騰下での公共施設の着実な更新と改修が公の果たす役割の柱だ。互いを理解し認め合う多様性を尊重する社会の実現に向け、多文化共生・交流事業と平和事業を一体的に進めてほしい。また、旧赤星邸利活用をはじめ、緑豊かな文化のまちづくりを望む。今後、子どもの意見や参加を施策に反映できるか課題である。一人一人の人権が尊重され自分らしく暮らし続けられる平和なまちであることを願う。

自由民主・市民クラブ

市民の声に真摯に向き合い 市民目線で情報発信・情報公開を

木﨑 剛 議員

①②③④⑤⑥賛成

令和5年度は経済活動等を力強く推進する必要があり、市民生活と経済活動の後押しを求める。吉祥寺駅前の駐輪場の土地の売買に関連する一連の事業や、住民投票条例、学童クラブの民間施設移設など、市民や議会が議論しづらい状況をつくり出し諦めさせるようなやり方が、不安や混乱を招いている。市民の意見に耳を傾けるとともに、市民目線での徹底した情報発信・情報公開や事業の事前説明等、市民に理解・納得してもらえるよう時間をかけて丁寧に行うことを求め、賛成する。

一般質問

第１回定例会では２月27日、28日に13名の議員から一般質問が行われました。各議員の主な質問と答弁を要約して掲載します。

詳しくは、５月下旬発行予定の会議録（設置場所：各市立図書館、各コミュニティセンター、市役所７階市政資料コーナー）、または武蔵野市議会ホームページの会議録検索（第１回定例会分は５月30日登録予定）、インターネット議会中継でご覧いただけます。

※一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対し、事務の状況や将来に対する方針等について、質問をしたり、説明や報告を求めたりすることをいいます。

シルバー人材センターの現況と課題、将来展望を問う

深沢達也　議員

問 武蔵野市シルバー人材センターの①存在意義を伺う②運営の現況と設置場所等の課題を伺う③将来展望を伺う。

答 ①高齢者の就業機会を確保し福祉の増進を図るとともに、能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与することが設立目的であり、健康維持や生きがいの獲得、社会参加等の実感を通じて地域社会の活性化につながると考える②会員数の減少、高齢化への対応が必要だ。一昨年事務所を移転したばかりのため現時点で移転は考えていない③生産年齢人口の減少および就労環境の変化に伴い、さらに役割は大きくなると考える。引き続き必要な支援をしていきたい。

市民を守るため空き家問題解決に向け積極的に動くべき

道場ひでのり　議員

問 空き家問題に関し、令和５年４月の改正民法施行により管理不全土地・建物管理制度が創設されるが①利害関係人として困っている人を守るため関係課できちんと準備をして運用してほしいが見解は②市道への越境枝葉に対し改正後は適切な手続きを踏めば対処可能とされるが、運用指針を伺う。

答 ①利害関係人について地方裁判所がどう判断するか現段階では想定できず、分からない要素が多い。国や他市区の動向に注視しつつ、活用方法等の検討、研究を進める。②市が越境枝葉を切除する場合でも、所有者に対し繰り返し催告する、適切な管理を求めるなど、丁寧な対応が必要と考える。

コロナワクチン被害者へ救済制度申請のサポートを

下田ひろき　議員

問 予防接種健康被害救済制度の申請件数の累計、健康被害と死亡での申請件数は。

答 ２月15日時点でコロナワクチンに関し相談９件、申請書等送付19件、当該制度に基づく死亡一時金や葬祭費の申請が２件だ。

問 本市の死亡者数は平成30年1,178人、令和元年1,180人、令和２年1,157人、令和３年は1,244人で、超過死亡が起こっていると考えるが、令和４年の死亡者数を伺う。

答 1,407名である。

問 コロナワクチン被害者の救済制度申請をサポートできる体制を求めるが、いかがか。

答 被害を受けた方が制度につながり救済されるよう、市もサポートが必要と考える。

武蔵野市の水道水を守るには

西園寺みきこ　議員

問 市が有機フッ素化合物汚染状況を正確に把握することは水道事業者としての基本だ。浄水場２か所のみならず、水源井戸ごとに定期的・継続的な水質検査を行うべきでは。

答 昨年は浄水場で２回測定し、１ℓ当たり16～22ナノグラムだった。本年の水源井戸検査結果は出しだい報告する。定期的・継続的な検査は重要で、体制を検討したい。

問 電気代が急上昇している今こそ、自前で電力を賄う経営努力の観点から、公共施設への太陽光パネル設置を進めるべきでは。

答 設置可能性調査で３か所が挙がった。コスト面等から現状で設置は難しいが、環境負荷低減に向けさまざまな点から研究する。

小学５年生のセカンドスクール６泊７日の復活を求める

与座 武 議員

問 コロナ禍の経験を踏まえ、改めてセカンドスクールの意義を再評価し、小学５年生における６泊７日の復活を求めるが見解は。

答 武蔵野市長期宿泊体験活動検討委員会報告書の提案に基づき事前事後のアンケートを実施しており、今後検証を行っていく。

問 武蔵野市国民保護計画に基づく緊急事態への対処機能強化は十分か、見解を伺う。

答 コロナ禍を踏まえ国の基本方針や東京都国民保護計画変更の際に市計画も改定する。

問 職員は従来ゼネラリストであるという考えであるが、福祉専門職採用への見解は。

答 専門性を持った職員の確保・育成も必要であり、調整計画等の策定時に議論したい。

安心・安全な歩行空間の確保と伝わる情報発信の実行を

木﨑 剛 議員

問 武蔵野中央公園南側の市道55号線のように、バスルートだが狭小で危険な場所は歩道設置など安心・安全の担保策が必要では。

答 歩道を造るには法律の区域変更等ハードルが高く難しい。対策可能な道路にはガードパイプの設置等の安全策を施している。

問 三鷹駅北口ロータリーの危険性は放置できない。安全性確保への短期的対応を伺う。

答 交通環境を注視しつつ状況変化に応じて警察と連携しながら可能な対応を検討する。

問 大野田小学童クラブ移設は、近隣住民との議論を時間をかけ丁寧に行うべきでは。

答 住民や自治会、保護者の理解を得て子どもたちのよりよい環境に向け努力していく。

駐輪場売却でレーサム所有地は２倍以上の価値向上

小林まさよし　議員

問 駐輪場を売却した先であるレーサムの所有地である、駐輪場の隣地の評価額は、市が委託した不動産鑑定士によると正常価格は８億8,360万円である。駐輪場を購入して一体地になり９億390万円の価値が発生し、資産価値は２倍以上の17億8,750万円と私は計算している。建設委員会で「隣地３倍といって、非常においしい話になる」と発言する議員もいたが、レーサムにとって極めて収益性の高い土地取引であることは間違いない。改めてレーサム所有地の資産価格はいくらに上昇したと試算するのか。

答 民有地の土地評価額を議会の場で公表することは控える。

自治体ＤＸの推進、帯状疱疹ワクチン接種への補助を望む

大野あつ子　議員

問 デジタル技術を活用し、行政窓口を「書かない窓口」「行かない窓口」へ移行し市民行政双方の利便性向上を進めてはどうか。

答 子どもの手当や助成の申請等で、書かない待たないスムーズな窓口の令和５年度試行開始を目指している。オンライン申請は令和５年１月に開始し、不足書類はオンライン提出が２割弱と利用者の反響もよい。

問 帯状疱疹ワクチン任意接種への補助は早期実施が望まれる。自治体への補助が開始された場合、市民への補助事業を行うのか。

答 今回、東京都で新たな補助制度が創設されることに伴い、50歳以上の市民を対象に補助事業を実施したいと考えている。

福祉・介護分野の持続可能性を維持する取り組みを求める

桜井夏来　議員

問 本市が実施するケアリンピック事業は、介護従事者のモチベーション向上を目的とするものだが、現場からは参加に伴う負担感を訴える声も聞こえてくる。市の認識は。

答 同事業は介護事業者等による実行委員会形式で実施しており、アンケートでも参加者の約９割から満足との回答を得ている。

問 介護を取り巻く諸問題の根本には、介護従事者の給与が低い状況が改善されないという点があると考える。国が行う「介護職員処遇改善支援補助金」交付事業に、市独自で上乗せをすること等は検討できないか。

答 介護職の処遇改善は国の課題と認識している。必要に応じ国に要望を行っていく。

コロナ感染症５類化に伴う影響と対応を問う

本間まさよ　議員

問 新型コロナ感染症の感染症法上の位置づけが５類に引き下がることにより、患者負担増や医療機関の対応が今まで以上に困難となる事態を危惧する。見解と対応を伺う。

答 医療費負担増とともに受診控え等による重症化、感染拡大の可能性も考えられる。国や都の方針を注視し、市民の安全・安心を守るための施策を必要に応じて実施する。

問 学校での感染対策事業に対する国の補助制度もあるが、活用する考えは。

答 学校の現状を鑑みながら検討していく。

問 境２丁目の山中南公園の遊具が壊れたままである。早急な改修を求めるが対応は。

答 令和５年度の上半期には修繕を行いたい。

市民参加のより一層の実現や広報の充実に向けて

本多夏帆　議員

問 計画策定の間に、社会が大きく変化した際、どのような軌道修正が考えられるか。

答 策定期間の延長や次期計画策定時期の変更、また事業執行において、柔軟な軌道修正が求められる場面もあると認識している。

問 市民参加に対するより一層の工夫は。

答 日時や場所などを参加しやすいよう工夫したり、パブリックコメントの提出方法を多様化したりしている。今後も工夫したい。

問 広報の専門員を配置することへの見解は。

答 効果的かつ訴求力のある情報発信や、分かりやすく伝わる言葉の使い方などにたけた広報専門員を配置することも、選択肢の一つとして研究していきたい。

給食費無償化による子育て支援と市内農業活性化を求める

きくち太郎　議員

問 子育て世代にとって、子育て費用は大きな負担となっており、その負担軽減のため、武蔵野市立小・中学校の給食費無償化を求めるが見解は。

答 子育て支援の観点からも有効と思われる。第六期長期計画・調整計画の討議要綱には記載していないが、策定委員会で議論して、施策の方向性を決めていく。

問 市内農業活性化のために、給食食材における市内産農産物の使用割合の目標値35%を達成できるよう市が支えるべきでは。

答 使用割合を増やしている他市の事例も参考に、どのような形が有効かを考え、目標達成に向けて努力していきたい。

吉祥寺美術館の特性を生かし市民の期待に沿う姿の検討を

蔵野恵美子　議員

問 吉祥寺美術館に求めるものは何か、広く市民意向調査をするべきと考えるが見解は。

答 全ての方が美術や文化に関心があるとは限らない中での意向調査は難しいと考える。

問 旧赤星邸の美術館としての活用は可能か。

答 課題が多く困難だが、建物との親和性は高く、展示内容により議論の深化は可能だ。

問 各避難所運営マニュアル作成の支援策は。

答 防災課の職員が適宜相談に応じている。

問 学齢期以降の障害者の放課後等デイ・余暇活動の場が増えないことへの見解を伺う。

答 スペースや費用面、職員確保の困難さ等が課題であり、次期計画に位置づけ、都への働きかけ等により支援策を考えていく。

外環道路特別委員会最終報告

外環道路特別委員会は、３月27日の本会議でこれまでの活動の報告を行いました。

報告の概要

外環本線については、調布市の工事現場直上で発生した陥没事故や空洞は、周辺住民の安全を脅かす重大な事態である。大泉側本線トンネルについては、令和４年12月に北行が掘進作業を再開しており、住民への説明が不足したまま配慮を欠く事業推進がなされている。

外環の２については、「武蔵野市における地上部街路に関する話し合いの会」の「中間まとめ」が進められているが、取りまとめに時間を要しており、構成員の声を十分に反映した「中間まとめ」の早急な完成が求められる。

武蔵野市議会としては、コミュニティの維持、良好な環境、シールドマシン工事における安全性や市民生活に影響を及ぼす諸課題について、都市での移動・流通等の変化も見据え、今後も引き続き、外環本線および外環の２についての調査・検討を市民、行政と行っていく必要がある。

議会改革検討結果報告

武蔵野市議会では、議会運営の迅速化、効率化を図り、市議会をより市民に分かりやすく、身近なものにするため、これまでも継続的に議会改革を行ってきました。

令和２年４月１日に武蔵野市議会基本条例が施行された後、令和２年度は、まず議会基本条例関係諸規定の検討および整備を行いました。その後、議会基本条例制定に伴う課題の検討を行うこととし、令和３年６月までの間、協議する会議体の検討や各会派から提案された改革事項の整理、協議を進める際の順位づけを行いました。その結果、議会運営委員会において、各会派および会派に属さない議員から提案された32項目を、点数順に協議することとなりました。

このたび、すべての項目について一とおりの検討を終えることができましたので、令和３年度および令和４年度を通じての議会改革検討結果について報告書を作成しました。

こちらのページで、武蔵野市議会改革検討結果について（報告）を閲覧できます。

各常任委員会　行政視察報告

令和４年10月に、各常任委員会で下記のとおり行政視察を実施しました。
各委員会視察報告の詳細については、市議会ホームページでご覧いただけます。

総務委員会

日程　令和４年10月12日（水）～14日（金）

視察先および視察内容

①兵庫県芦屋市
・ASHIYA RESUME事業について

②兵庫県西宮市
・第二庁舎（危機管理センター）について

③大阪府堺市
・さかいSDGs推進プラットフォームについて

④兵庫県尼崎市
・シティプロモーションの取り組みについて

西宮市役所第二庁舎（危機管理センター）屋上ヘリポート

文教委員会

日程　令和４年10月12日（水）～14日（金）

視察先および視察内容

①愛知県一宮市
・pepperを使ったプログラミング教育について

②愛知県豊田市
・豊田市子ども条例について

③岐阜県瑞浪市
・スーパーエコスクールについて

④愛知県小牧市
・子育て世代包括支援センターについて

瑞浪市立瑞浪北中学校

厚生委員会

日程　令和４年10月27日（木）～28日（金）

視察先および視察内容

①愛知県大府市
・ヤングケアラー支援について

②愛知県豊川市
・保健センター建て替え事業について

豊川市　総合保健センター（仮称）建設予定地

建設委員会

日程　令和４年10月27日（木）～28日（金）

視察先および視察内容

①岐阜県岐阜市
・未来技術社会実装事業（自動運転）について

②愛知県豊田市
・あそべるとよたプロジェクトについて

岐阜市役所

政府等への意見書

東京外かく環状道路（関越～東名）事業に関する意見書

東京外かく環状道路の大深度地下トンネル工事により、調布市の住宅地で道路の陥没事故が発生してから、本年二月で二年四か月が経過した。

令和四年一月三十日及び二月一日に、東日本高速道路株式会社など事業者三者は、再発防止対策を示し工事再開に向けた住民説明会を武蔵野市内で開いたが、住民からは振動や騒音の影響などへの不安の声が相次いだ。同年二月には、東京地方裁判所により、工事差止め仮処分命令申立てに対する決定がなされ、東名側本線トンネル工事が差止めとなっている。同年四月に、大泉側本線トンネル（南行）のシールドマシンが破損事故を起こし、工事が停止していたが、補修が済んだとして、同年十一月に事業用地内での工事を再開した。

同月二十五日に武蔵野市内で行われたオープンハウスで、住民は大泉側本線トンネル（北行）の事業用地外の推進に向けた工事の再開を初めて知るところとなり、これは説明会などが開かれない中での突然のことであった。これまでも再三にわたり、市民の安全・安心につながる取組を求めてきたにもかかわらず、住民の不安が解消されないままでのこうした措置は全く配慮に欠けたものであり、強く抗議する。

外環の2については、「武蔵野市における地上部街路に関する話し合いの会」の「中間まとめ」の早期完成が求められている。取りまとめ後の進め方については詳細が示されていない状況である。また、自動車交通量に対する見通しについても、必要性の説明が不足しており、社会状況の変化を反映したものとは思えない状況である。

沿線住民にとっては、国及び都の施策によって翻弄されてきた積年の忍耐を重ねて、地域で安心して暮らし続けることができるかどうか見通しが立たない状況が続いている。

以上の経緯に鑑み、武蔵野市議会は、武蔵野市民の良好な生活環境の維持、沿線住民の安全・安心の確保及び情報提供の観点から、下記の事項について国及び東京都に要望する。

一　工事再開の説明が不十分であり、外環本線の事業用地外への工事再開に至る経緯及び工事の影響等について、住民に対し改めて説明の場を設け丁寧な対応を行うこと。

二　係争中であることに鑑み、沿線住民が納得するまで工事を再開しないこと。

三　工事等に起因する事象について、調査等必要な対応を行い、沿線住民の不安解消を図ること。

四　外環の2については、構成員の声を十分に反映した「武蔵野市における地上部街路に関する話し合いの会」の「中間まとめ」を早急に完成させること。

五　引き続き、沿線七市区及び沿線住民に対して、適宜適切な情報提供を徹底し、情報共有を図ること。

（内閣総理・国土交通・環境大臣、東京都知事宛て）

※なお、同内容の要望書を中日本高速道路株式会社および東日本高速道路株式会社宛てに送付しました。

陳情審議結果

意見付き採択

・吉祥寺本町二丁目四番先の道路陥没事故に市が支出した復旧費用等の詳細な金額を議会へ行政報告することを求めることに関する陳情

（意見）陳情の趣旨は了とするが、事業者との交渉確定後に議会への報告を求める。

不採択

・子どもの権利条例（仮称）の審議についてに関する陳情

・温暖化対策見直しを求める国への意見書提出に関する陳情

・市の温暖化対策についての提案に関する陳情

・桜井夏来議員に問責決議を求める陳情

・庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金の自粛を求めることに関する陳情

・旧吉祥寺大通り東自転車駐車場建物取壊し費用について競争入札を行わなかったことに関する真相究明を求める陳情

・議案第六号　武蔵野市子どもの権利条例を継続審議とすることを求める陳情

・武蔵野市子どもの権利条例の慎重な審議を求める陳情

・民主主義・立憲主義の基盤である思想・良心の自由、請願権等を守ることに関する陳情

継続

・「住民投票制度確立に向けた論点整理」関連予算の保留に関する陳情

・武蔵野公会堂改修関連予算の執行停止に関する陳情

会派名簿

会派とは、市政について、同じような考えや意見を持っている議員のグループで、議会活動の一つの基盤となります。

※この会派名簿は、令和5年4月30日任期満了のものです。

※氏名は議席番号順、電話番号は会派控室（市役所7階）の直通電話番号です。議員の連絡先は、わたしの便利帳や市議会ホームページでご確認いただくか、議会事務局にお問い合わせください。

自由民主・市民クラブ　☎60-1884
道場　ひでのり　小林　まさよし
ひがし　まり子　木　﨑　剛
土　屋　美恵子　与　座　武
小美濃　安　弘

立憲民主ネット　☎60-1889
藪　原　太　郎　蔵　野　恵美子
西園寺　みきこ　川　名　ゆうじ
深　沢　達　也

市議会公明党　☎60-1887
大　野　あつ子　浜　田　けい子
落　合　勝　利

自治と共生　☎60-1890
内　山　さとこ　山　本　あつし

ワクワクはたらく　☎60-1885
宮　代　一　利　本　多　夏　帆

日本共産党武蔵野市議団　☎60-1888
橋　本　しげき　本　間　まさよ

小さな声を活かす会　☎60-1944
桜　井　夏　来　山　本　ひとみ

会派に属さない議員　☎60-1909
品　川　春　美　きくち　太　郎
下　田　ひろき

議案審議結果（議決）一覧

第1回定例会

【市長提出議案(31件)】

●武蔵野市固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について(議案2件) …… 同意(全会一致)
※本市固定資産評価審査委員会委員に、吉田宗一郎氏および中田千恵子氏を選任することについて、市議会の同意を求めるもの。

●武蔵野市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例の一部を改正する条例 …… 可決(全会一致)
※武蔵野市指定管理者候補審査委員会の設置、所掌事項、組織および任期等、委員会に関して必要な事項を定める改正を行うもの。

●武蔵野市情報公開･個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例 …… 可決(全会一致)
※武蔵野市議会個人情報の保護に関する条例の制定に伴い、審査庁の定義に武蔵野市議会を追加する等の改正を行うもの。

●武蔵野市情報公開･個人情報保護審議会条例の一部を改正する条例 …… 可決(全会一致)
※武蔵野市議会個人情報の保護に関する条例の制定に伴い、情報公開・個人情報保護審議会の所掌事務を追加する等の改正を行うもの。

●武蔵野市子どもの権利条例 …… 可決(賛成多数)
※未来にわたって子どもの権利と尊厳が尊重されるよう、子どもに優しいまちづくりを推進する取り組み、子どもの権利の侵害について救済する仕組み等を定めるため、制定するもの。

●武蔵野市子どもプラン推進地域協議会条例の一部を改正する条例 …… 可決(全会一致)
※子ども・子育て支援法の改正に伴い、条例における法律の引用条項を変更するもの。以下の3議案も同様。

●武蔵野市立保育園条例の一部を改正する条例 …… 可決(全会一致)

●武蔵野市一時保育事業の実施に関する条例の一部を改正する条例 …… 可決(全会一致)

●武蔵野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 …… 可決(全会一致)

●武蔵野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 …… 可決(全会一致)
※家庭的保育事業者等に安全計画の策定等を義務化するほか、衛生管理等の努力義務の内容をより詳細に規定する等の改正を行うもの。

●武蔵野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 …… 可決(全会一致)
※放課後児童健全育成事業者に安全計画の策定等を義務化するほか、業務継続計画の策定等を努力義務化する等の改正を行うもの。

●武蔵野市福祉型住宅管理条例の一部を改正する条例 …… 可決(全会一致)
※福祉型住宅の種別の見直しに伴い、「単独福祉型住宅」を「福祉型住宅」とする等の改正を行うもの。

●武蔵野市中小規模事業者事業資金融資あっせん条例の一部を改正する条例 …… 可決(全会一致)
※令和5年度の特別融資あっせんの申請要件を緩和するため、事業者の売上高等の比較期間を拡大するもの。

●武蔵野市教育委員会の所管する計画の策定に関する審議会設置条例 …… 可決(全会一致)
※武蔵野市教育委員会の所管する計画の策定に関する審議会の設置、所掌事項、組織および任期等、審議会に関して必要な事項を定めるため、制定するもの。

●武蔵野市給水条例の一部を改正する条例 …… 可決(全会一致)
※地方自治法の改正により、指定代理納付者制度に係る規定が削除され指定納付受託者制度に係る規定が新設されたことに伴い、所要の改正を行うもの。

●人身事故に係る損害賠償の額の確定及び和解について …… 可決(全会一致)
※武蔵野市内において発生した人身事故に係る損害賠償の額の確定および和解をするもの。

●令和4年度武蔵野市一般会計補正予算(第6回) …… 可決(全会一致)

●令和4年度武蔵野市国民健康保険事業会計補正予算(第2回) …… 可決(全会一致)

●令和4年度武蔵野市後期高齢者医療会計補正予算(第1回) …… 可決(全会一致)

●令和4年度武蔵野市介護保険事業会計補正予算(第2回) …… 可決(全会一致)

●令和5年度武蔵野市一般会計予算 …… 可決(賛成多数)

●令和5年度武蔵野市国民健康保険事業会計予算 …… 可決(全会一致)

●令和5年度武蔵野市後期高齢者医療会計予算 …… 可決(全会一致)

●令和5年度武蔵野市介護保険事業会計予算 …… 可決(全会一致)

●令和5年度武蔵野市水道事業会計予算 …… 可決(全会一致)

●令和5年度武蔵野市下水道事業会計予算 …… 可決(全会一致)

●武蔵野市国民健康保険条例の一部を改正する条例 …… 可決(全会一致)
※出産育児一時金の支給額を現行の42万円から50万円へ引き上げるもの。

●武蔵野市印鑑条例の一部を改正する条例 …… 可決(全会一致)
※法改正により、マイナンバーカードに搭載されている電子証明書をスマートフォンに搭載可能となることに伴い、印鑑登録証明書のコンビニエンスストアでの交付に係る規定を改正するもの。

●武蔵野市監査委員の選任の同意について …… 同意(全会一致)
※本市監査委員に小島麻里氏を選任することについて、市議会の同意を求めるもの。

●武蔵野市教育委員会委員の任命の同意について …… 同意(全会一致)
※本市教育委員会委員に岩崎久美子氏を任命することについて、市議会の同意を求めるもの。

【議員提出議案(2件)】

●武蔵野市議会個人情報の保護に関する条例 …… 可決(全会一致)

●東京外かく環状道路(関越～東名)事業に関する意見書 …… 可決(全会一致)

議案に対する各議員の賛否結果については、市議会ホームページに掲載しています。

インターネット中継（速報版）を開始します

市議会インターネット中継の生中継を行った当日中または翌日中（土曜日・日曜日・休日を除く）に、速報版の映像を配信します。

開始時期はホームページでお知らせいたします。

市議会だよりへのご意見、ご要望をお聞かせください。

議会事務局
TEL 0422-60-1883　FAX 0422-55-7555
メールアドレス　ofc-gikai@city.musashino.lg.jp
市議会ホームページ　https://www.city.musashino.lg.jp/shigikai/